

No.15
30 Apr. 2007

日本・パプアニューギニア協会会報

ごらくちよう

Bird of Paradise

発行 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会

発行日 平成19年4月30日

編集 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会広報部 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館6F(ニューギニア航空日本支社内) TEL 03-5216-3555 FAX 03-5216-3556

鶴ヶ島より愛をこめて「ありがとう」

ポリトライブ会長 中川 晶一郎(当協会会員)

鶴ヶ島市が所蔵するオセアニア民族造形美術品の公開展示「第7回南の精霊展 異なるもののカーニューギニア島の造形をめぐって」に、日パ協会の皆さんが鑑賞ツアーで来てくださいました。

2月17日、大型バスが会場の鶴ヶ島第2小学校に到着すると、すでに初めての方も以前からの知り合いのような雰囲気。挨拶もそこそこに会場に入り、賀集イレーネさんの司会でセレモニーが始まりました。

ポリトライブにとっても、以後、市主催の展示中止が決定するなかで、思い入れの深いものでした。

これらの作品を取り巻いている無理解と偏見は、現代日本の司会の賀集イレーネさん西洋偏重主義とウラハラなものでしょう。私達は作品を美的に評価するだけではなく、その背後に流れる人間の精神の深みにこそ学ぶべき未来はあると考えています。

「これだけのものは現地でも観れなかった」「また来るわね」「がんばってね」等々。

私達は心を通わせた皆さんに力をいただいて、今後できるかぎりの活動を続けます。

鑑賞の後、私達も昼食会に同行させていただき、本当に楽しいひと時を過ごさせていただきました。

又、お会いしましょう。鶴ヶ島で。そして本当にありがとうございました。



興奮して解説している永井さん



ご参加者のみなさん



細やかな作品解説



実演しながら説明する中川

私もポリトライブを代表して歓迎のスピーチをさせていただきましたが、皆さんの「とうとう来ましたよー」とでも言うしかない波動を受け、のっけから感激でした。

その後、市教育委員会担当の永井昌和氏の解説で展示を観ていただきましたが、なぜか彼もすでに興奮していて、普段の倍以上のスピードでハイテンションの解説でした。



造形美術を熱心に鑑賞

パプアニューギニアの青年達を町田の武相マラソンへ!

志村 容一(当協会会員)



なごやかに行われたパーティー

東京町田クレインライオンズクラブ(志村容一会長)では3回にわたるチャリティーボウリング大会を開催、計500名(3回合計)の方々に参加を頂き、大成功のうちに終了しました。

趣旨はライオンズ国際協会の「視力ファーストⅡ支援」と「パプアニューギニア青少年育成・教育・文化交流支援」でした。特に当クラブが4年前から取り組んでいるパプアニューギニアに対する各種支援への有意義なアクティビティであったと思っております。

第一回大会にはパプアニューギニアのマウエ駐日大使、第三回大会には若者に人気のある女優でパプアニューギニア親善大使の小野真弓さんが飛び入り参加、更に大使館から一等書記官のマシューさんも駆けつけ、初めてのボウリングにチャレンジしました。趣旨に賛同し、ご協力頂いた方々には心から感謝致しております。

また、パプアニューギニアの青年達(高校生)2名は、4月21日(土)から5月5日(土)まで二週間日本に滞在し、4月



パプアニューギニア親善大使の小野真弓さん

29日(日)に開催されました武相マラソンに参加しました。文化や生活習慣の全く違う日本での日々が円滑に過ごせるよう、クレインライオンズメンバーは各種事前調整や歓迎会の準備等、万全の配慮を施しました。

今回は、日本・パプアニューギニア協会、パプアニューギニア大使館、ニューギニア航空の多大なご支援を頂きました。本当にありがとうございました。



マシュー 一等書記官と私

SERIES PNG最高峰 ウィルヘルム山登頂記①

賀部 祥平(当協会会員)



賀部 祥平(かべ しょうへい)

当協会会員。2005年1月にパプアニューギニア最高峰の「マウントウィルヘルム」へ登頂。2005年11月発行の「パプアニューギニア ソロモン諸島 トラベルガイド」の取材及び撮影の為にパプアニューギニアを訪れ、その後もパプアニューギニア各地を旅する。2005年11月22日にラバウルで開催された「南太平洋盆踊り大花火大会 2005」では、大会実行委員の一員として参加。

ウィルヘルム登山計画・準備

2005年1月、私はパプアニューギニア最高峰「ウィルヘルム山(4,509m)」に登る機会に恵まれました。

私自身、山登りと言えば、小学生の時に登った高尾山くらいの記憶しかありません。そんな登山経験のない私でしたが、何故か不安になるどころか、パプアニューギニアで富士山よりも高い山に登れるということがとても嬉しく、そしてとても楽しみでした。



山道を一路ケグスグルへ

何を持って行けば良いのだろうか。自分なりに情報収集をした結果、寝袋や雨具、ヘッドランプ、簡易アイゼンなど最低限必要と思われるものは購入しました。そこで、ふと登山用の靴が無いことに気が付きました。しかし、登山靴は予想以上に高価なものばかりです。私は何も考えずにディスカウントショップで1,980円の長靴を買い、これで準備万端とウィルヘルム山へ向かうのでした。

パプアニューギニア ウィルヘルム山を目指して

今回の旅はポートモレスビーより空路マウントハーゲンへ、そして陸路をクンディアワ経由ケグスグル(ウィルヘルム山の麓の村)へと向かいます。

マウントハーゲンから4WDの車に乗り込み、ハイランドハイウェイを一路クンディアワへ。その後、ケグスグルの村へ向けて未舗装の山道を登って行きます。途中パンクやスタックなどのトラブルを乗り越え、クンディアワから車酔いをする暇も無いくらいに車に揺られること4時間、ケグスグルの村に到着しました。



パンクでしばし休憩



ケグスグルの村人たち

ウィルヘルムアタック前夜

ケグスグル到着後、早速シャワー用にお湯を沸かしてくれています。もちろんガスなどは無く、ドラム缶に雨水を入れ薪で沸かすのです。原始的であるが故にお湯の有難さが身に沁みます。

私は土曜日に日本を出発し、一度もテレビを見ず、携帯電話を使わず、パソコンの前にも座らず、こうして薪で沸かしたお湯を標高2,550mにあるロッジで浴びていることにもすごい幸せを感じていました。

明日からはいよいよ標高3,550m、ピュンデ湖ロッジに向けて出発です。



ケグスグルのロッジ(右側が貯水タンク)

輝く生き物を探しに

遠藤 聡子(当協会会員)

パプアニューギニアには、国旗にもあしらわれているゴクラクチョウを筆頭に、華麗かつ珍しく興味深い動植物が数多く生息している。昆虫もその例に漏れない。

例えば日本でもマニアの間で「パプキン」と親しまれるパプアキンイロクワガタや、マニア垂涎のニジイロクワガタは代表格。その名の通り金色もしくは虹色に輝くその体の放つ光沢はまるで金属を思わせる。このような美しい金属的な輝きをもつのは、カミキリムシ、ハナムグリ、ゾウムシも同様。そこかしこの草むらや木の幹にこんな宝石の様な昆虫が隠れているのだから、虫好きにはたまらない。

地入りしてから情報を収集するのがよい。

プロロ以外にも観察ポイントは数多くある。たとえばクツブ湖を訪ねたときのこと。ここでは子供たちが大活躍。履き慣れない長靴と足元の悪い道に苦勞している我々を尻目に、裸足のまま笑顔で道の脇の草むらを走っていく。始めの頃こそ遠巻きにしていた彼らも、そのうち様々なホウセキゾウムシやジャノメチョウ、昆虫ばかりでなくヤモリやツヤトカゲ、パチンコで撃ち落したムネアカオバトを手を寄ってくる。そのうちにとんでもないはずらっ子も出現。大事そうに両手で何かを包み隠して近寄って来て、「なんだなん



大型で美麗種が多いホウセキゾウムシ

昆虫観察に最も代表的でお勧めな場所は、ほぼ中央部に位置するプロロ。この町を中心に車で1時間〜数時間圏内に観察ポイントが点在している。一番お手軽なワウ生態学研究所には、パプアニューギニアに生息する昆虫がコレクションされている。特に敷地内の草木に集まり舞う数種のトリバネアゲハは必見の価値あり。もう少し足を伸ばせばチョウが集まる谷などへ行くこともできるが、年によって発生

の時期や場所が異なることもあって現↑だ」と数人が覗き込んだところでパツといきなりその手を開く。目の前に差し出された手に乗っていたのは巨大な白いクモ。間髪入れず「ギャー！」と悲鳴があがる。いたずらっ子は満面の笑みを浮かべて、そのクモをこちらに投げる真似をしてみせる悪乗りぶり。お陰で疲れも吹き飛ばす。シャイだが、慣れればとても人懐こいパプアニューギニアの人々との交流も楽しいものだ。



日本・パプアニューギニア協会
法人会員紹介 第8回

みなさん、こんにちは。

「日本パプアニューギニア旅行業協会です。」

事務所/〒102-0073
東京都千代田区九段北
1-7-13 九段岡澤ビル1階
(有)ピーエヌジージャパン内
TEL03-5226-7731
FAX03-5226-7669



女優の小野真弓さんも登場した昨年のJATA世界旅行博

当会は日本からパプアニューギニアへの観光旅行振興を目的に、パプアニューギニアへの旅行を取り扱う航空会社、現地旅行会社(ランドオペレーター)、旅行会社が集まって設立されま

した。現在の会員は、(株)NTB、(株)グローブ、ニューギニア航空日本支社、パシフィックインターナショナル(株)、(株)UTIジャパン、(有)PNGジャパンの6社。旅行に関連する現地事情の情報交換などのほか、旅行に関連

する各種展示会への共同出展を行い、パプアニューギニアの魅力を広く一般の方々に宣伝しています。日パ協会の主催するセレモニーでも積極的にお手伝いをさせていただいています。

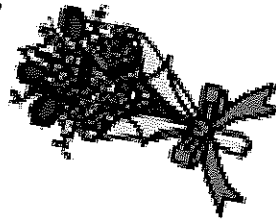
事務局からのお知らせ

城ヶ滝 道和様、
おめでとうございます!

駐日パプアニューギニア大使館総務主任 城ヶ滝 道和様が、2007年3月1日総督邸で開催されました2007年のパプアニューギニア・ロゴフ勳章授与式で、永年にわたるパプアニューギニアへの貢献を認められ、パプ

アニューギニア総督パウリアウス・パタネ卿よりロゴフ勳章(LM)を授与されました。

おめでとうございます。これからも、PNGと日本のために益々ご活躍されますことを期待しております。

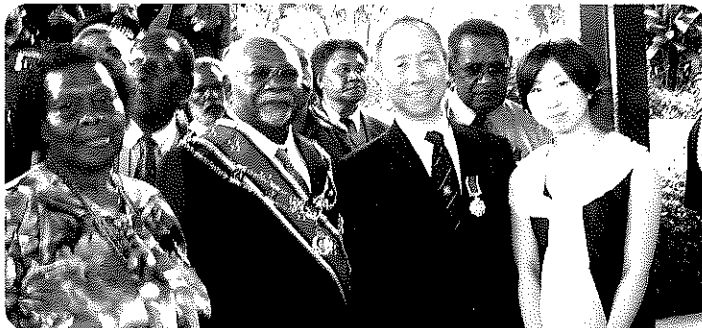


フォトコンテスト

ニューギニア航空が、成田就航5周年を記念して、日本ビューレット・パッカード(株)のご協力の下、フォトコンテストを主催します。テーマは「PNGの海」。奮ってご応募下さい。詳細はニューギニア航空のホームページ(<http://www.air-niugini.co.jp>)まで。

編集後記

鶴ヶ島市は1725点ものオセアニア民族造形美術品を所蔵しています。今回、ツアーで鑑賞できたのは、ほんの一部でしたが、素晴らしい美術品ばかりでした。仮面や楽器の大きいこと。私も実際、太鼓を叩いてみました。(佐藤直子)



パプアニューギニア・ロゴフ勳章授与式での城ヶ滝さんとお嬢様の緑さん

日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的として、文化、学術、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

申し込み方法 / 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。
年会費 / 個人会員 5,000円 法人会員 50,000円 PNG人 1,000円
会費受付 / 郵便振替口座をご利用ください。

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。
*会員数 2007年3月末 法人会員/15 個人会員/92

口座加入者名 / 番号 00140-2-277582
問合せ先 / 日本・パプアニューギニア協会
日本・パプアニューギニア協会 事務局
〒102-0074
東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館6階
(ニューギニア航空 日本支社内)
電話:03-5216-3555 FAX:03-5216-3556
E-mail:info@air-niugini.co.jp